

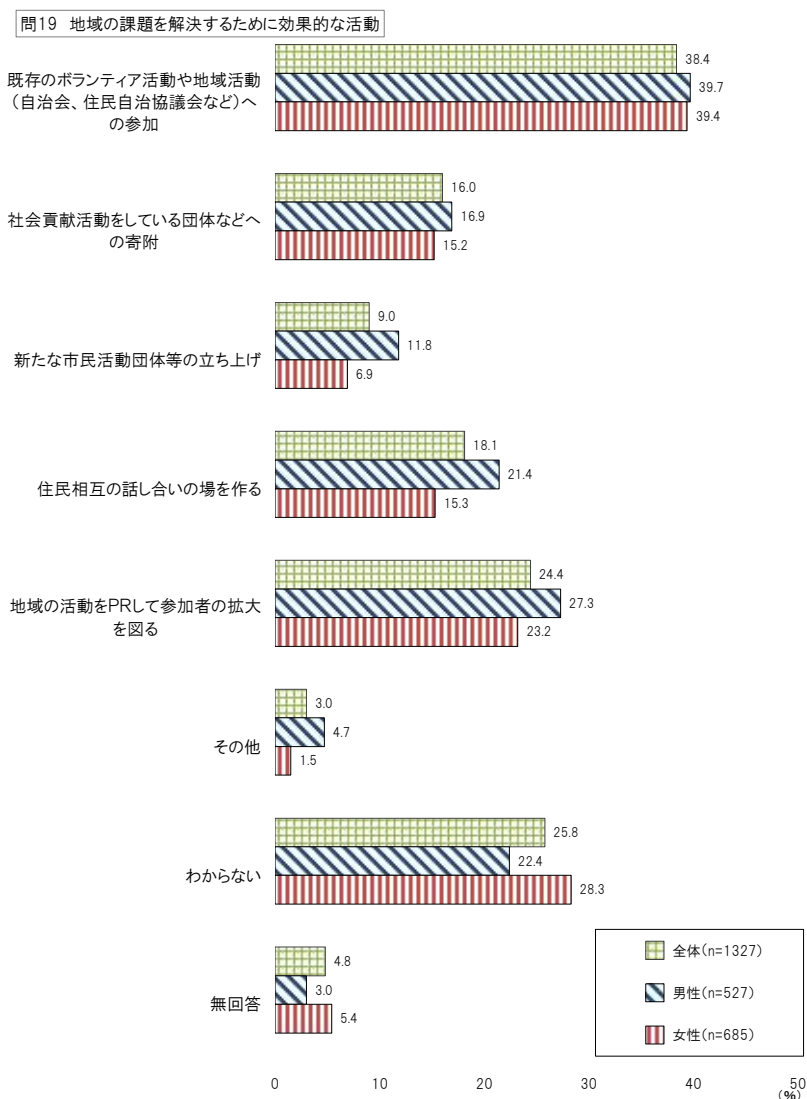
3. 地域社会で市民活動を支える仕組みについて

問 19 あなたが、もし地域の課題を解決するために何らかの活動をしようとする場合、どのような方法が効果的だと考えますか。（〇はいくつでも）

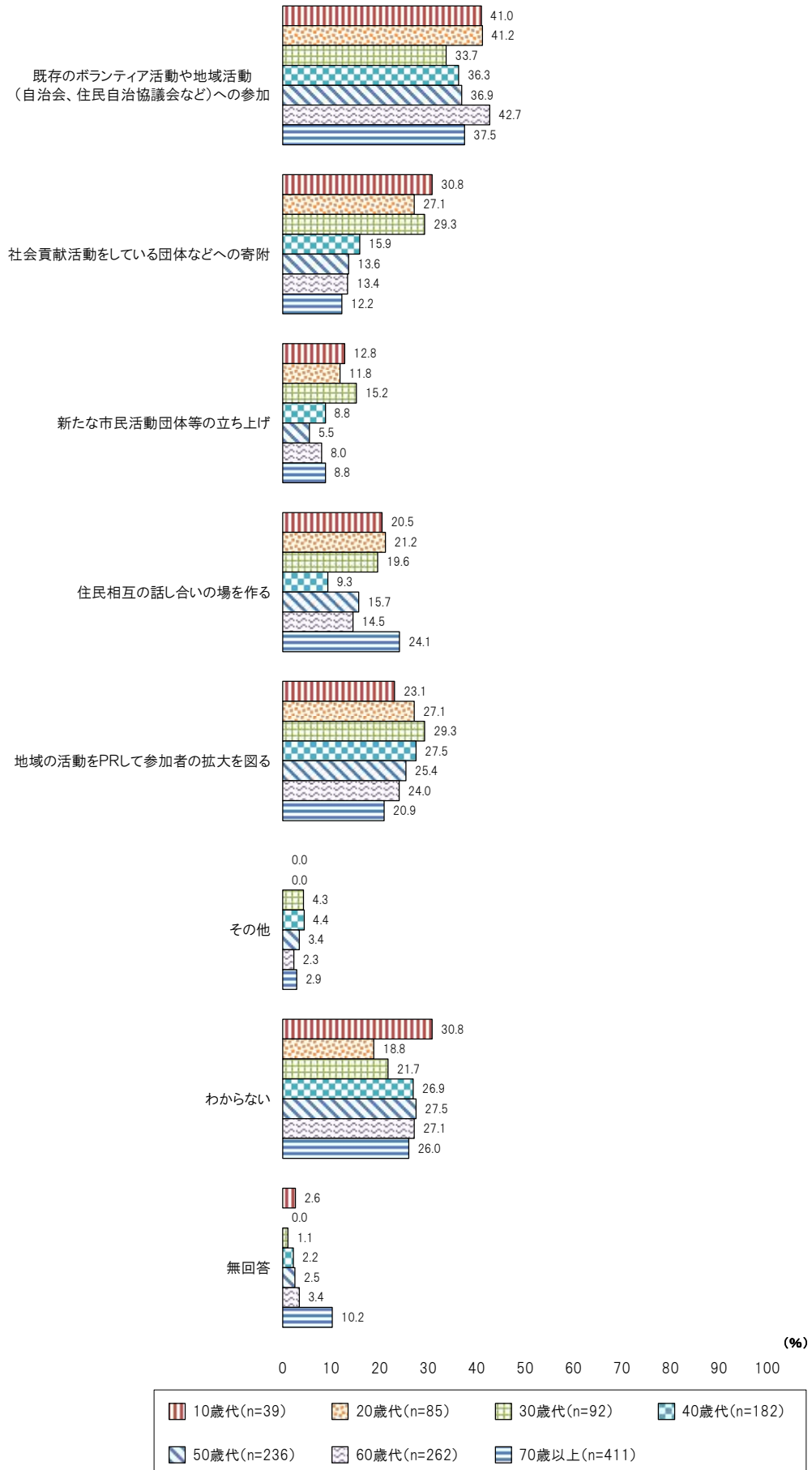
「既存のボランティア活動や地域活動への参加（自治会、住民自治協議会など）」が38.4%と最も高く、次いで「わからない」が25.8%、「地域の活動をPRして参加者の拡大を図る」が24.4%となっている。

性別にみると、男女とも「既存のボランティア活動や地域活動への参加（自治会、住民自治協議会など）」の割合が最も高く、男女の間で差が大きかった項目は、「住民相互の話し合いの場を作る」が男性で21.4%、女性で15.3%と男性の方が女性より6.1ポイント高くなっている。

年代別にみると10歳代、20歳代、30歳代がほかの年代に比べ「社会貢献活動をしている団体などへの寄附」が3割前後と高くなっている。



問19 地域の課題を解決するために効果的な活動



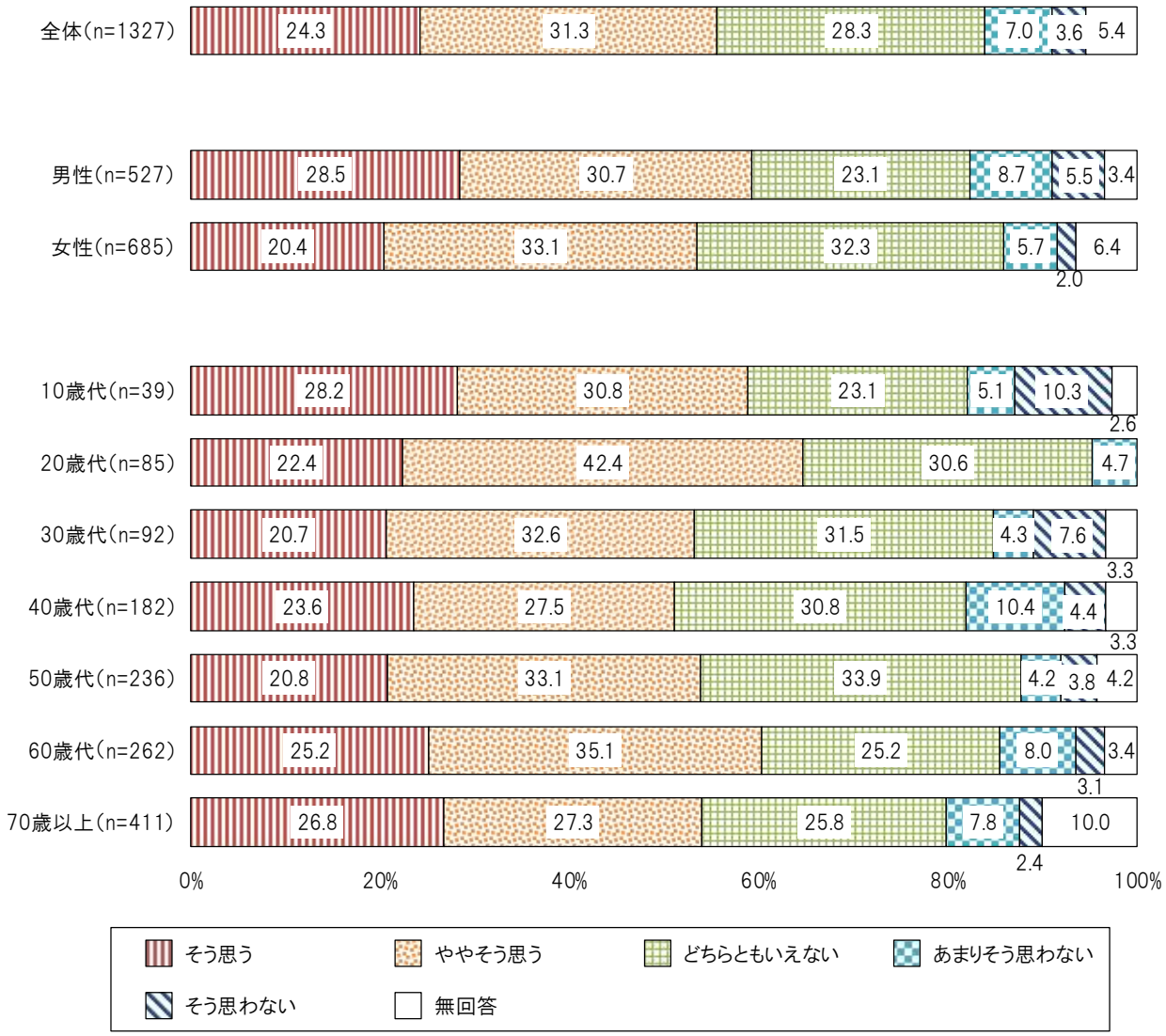
(%)

問 20 あなたは、松阪市で市民や企業からの資金提供を通じて公益的・社会的な活動に参加、協力する仕組みが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

「ややそう思う」が31.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.3%、「そう思う」が24.3%となっている。

性別にみると、「そう思う」の割合は男性の方が女性より8.1ポイント高くなっている。
 年代別にみると、20歳代で「ややそう思う」の割合が他の年代に比べ高く、4割を超えている。

問20 市民や企業からの資金提供を通じて公益的・社会的活動に参加、協力する必要性



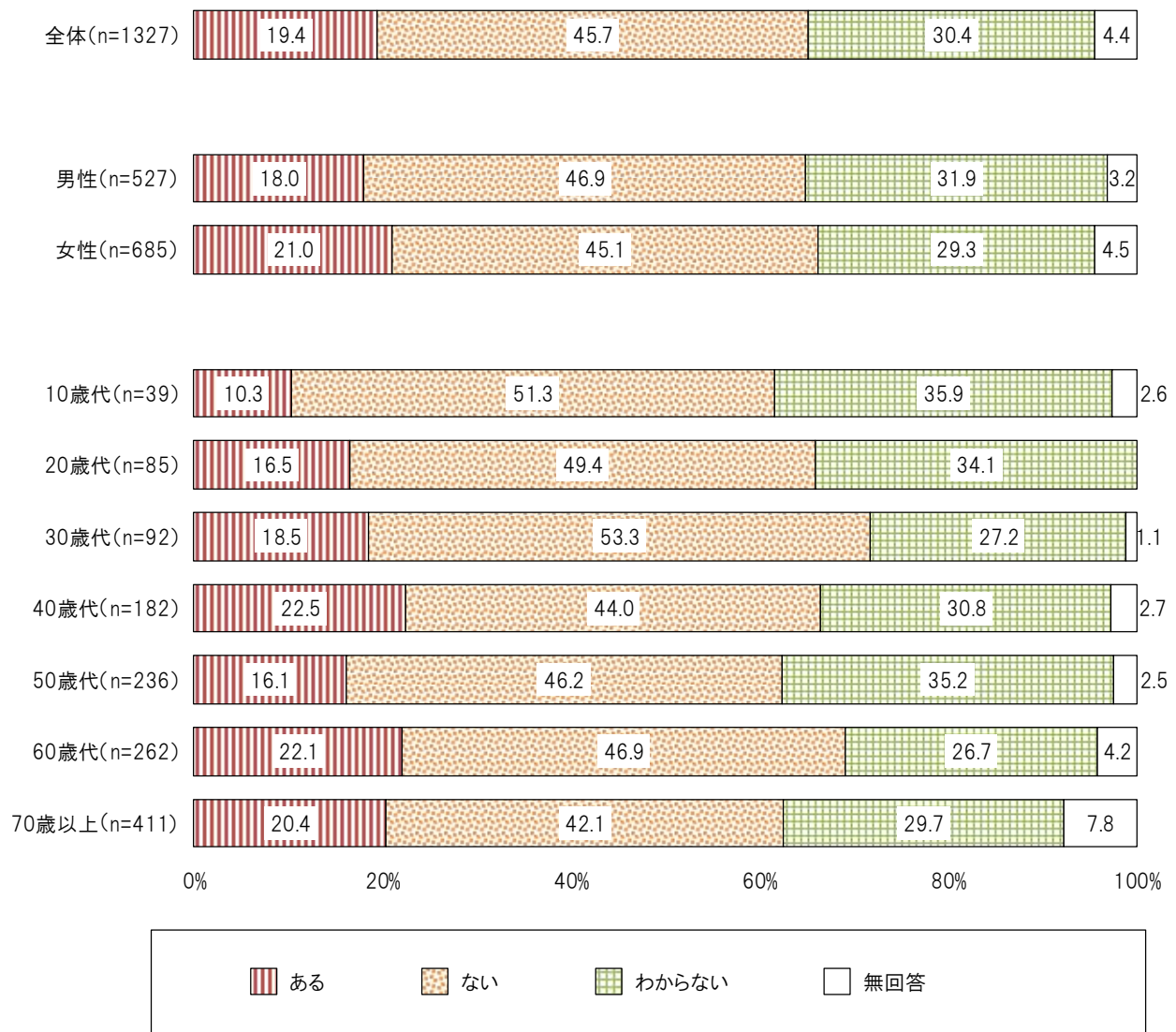
問 21 あなたは、今までに、社会的課題解決（例：災害復興支援, 子ども食堂の支援, 環境保全活動など）を目的とした寄附や出資をしたことがありますか。（○は1つだけ）

「ない」が45.7%と最も高く、次いで「わからない」が30.4%、「ある」が19.4%となっている。

性別にみると、「ある」の割合は男性で18.0%、女性で21.0%と、女性の方が男性より3.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ある」の割合について、40歳代、60歳代、70歳以上で2割を超えている。

問21 これまで社会的課題解決を目的とした寄附や出資の有無



問 22 あなたが、1年間に寄附をしてもよいと考える金額を教えてください。(○は1つだけ)

「1円以上2,000円未満」が32.0%と最も高く、次いで「2,000円以上5,000円未満」が22.2%、「5,000円以上10,000円未満」が18.3%となっている。

性別にみると、「1円以上2,000円未満」が女性で36.9%、男性で27.7%と女性の方が男性より9.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「1円以上2,000円未満」がすべての年代で最も高く、10歳代、20歳代で4割を超えている。

問22 1年間に寄附をしてもよいと考える金額

